

「チャレンジ ミッション '08」(基本目標別)

1 「変える・やまなし」の実現 3

- ・ 県立病院の経営改善【福祉保健部】
- ・ 公営企業の経営健全化【企業局】
- ・ 税収確保対策の強化【総務部】

2 「力みなぎる・やまなし」の実現 15

- ・ 「やまなしブランド戦略」の推進【知事政策局】
- ・ やまなしブランドの推進【商工労働部】
- ・ 県産農産物の販路拡大と輸出促進【農政部】
- ・ 力強い果樹産地づくり【農政部】
- ・ 多様な担い手づくり【農政部】
- ・ 耕作放棄地の再生活用【農政部】
- ・ 野生鳥獣の保護管理の推進【森林環境部】
- ・ 鳥獣害防止対策の強化【農政部】
- ・ 技術系人材の確保・育成【商工労働部】
- ・ ベンチャーなどの創業支援【商工労働部】
- ・ 高度情報エリアの整備検討【企画部】
- ・ 情報通信関連企業の立地促進【企画部】
- ・ 企業の誘致・既存立地企業の事業拡大支援【商工労働部】
- ・ 建設産業の活性化支援【県土整備部】
- ・ 中心市街地の活性化【商工労働部】

3 「やすらぎ・やまなし」の実現 12

- ・ 建築物の耐震化推進【県土整備部】
- ・ 県有施設の耐震化推進【総務部】
- ・ 県立学校施設の耐震化推進【教育委員会】
- ・ 消防力の強化【総務部】

- ・安全・安心なまちづくり【警察本部】
- ・少子化対策の推進【福祉保健部】
- ・障害者の自立支援【福祉保健部】
- ・ユニバーサルデザインの推進【県土整備部】
- ・医師確保対策の実施【福祉保健部】
- ・妊婦の安全・安心の確保【福祉保健部】
- ・富士・東部地域における小児救急医療体制の整備【福祉保健部】
- ・公立病院等の再編・ネットワーク化【福祉保健部】

4 「はぐくむ・やまなし」の実現 5

- ・県立高等学校整備構想の策定【教育委員会】
- ・キャリア教育・産業教育の充実【教育委員会】
- ・「はぐくみプラン」の実施【教育委員会】
- ・スポーツ施設の整備【教育委員会】
- ・県立美術館の魅力向上【教育委員会】

5 「さわやか・やまなし」の実現 5

- ・美しい県土づくり【県土整備部】
- ・富士山世界文化遺産登録の推進【企画部】
- ・総合的な環境政策の推進【森林環境部】
- ・地球温暖化対策の推進【森林環境部】
- ・最終処分場の整備推進【森林環境部】

6 「つどう・やまなし」の実現 4

- ・大型観光キャンペーンの展開【観光部】
- ・外国人観光客の誘致【観光部】
- ・新たなツーリズムの推進【観光部】
- ・観光地の再生【観光部】

7 「むすぶ・やまなし」の実現 5

- ・ 骨格道路網の整備推進【県土整備部】
- ・ 県際道路の整備促進【県土整備部】
- ・ 多様な交通手段の整備検討【企画部】
- ・ 山梨リニア実験線の整備促進【企画部】
- ・ 国際交流ゾーン構想の検討【知事政策局】

○ 行政改革

- ・ 部局における県民との対話事業の実施
【知事政策局及び出納局を除く知事部局】
- ・ 出先機関の窓口サービスの改善【全部局】
- ・ 県外への情報発信・PR活動の強化【全部局】

チャレンジ ミッション '08

1 「変える・やまなし」の実現

重点方針1 県立病院の経営改善

多額の累積欠損金を抱える県立病院の抜本的な経営改善を進めるため、経営形態検討委員会の報告等を踏まえ、本県の病院事業に最もふさわしい経営形態への移行準備を進めます。

また、病院の果たすべき役割及び一般会計負担の考え方、経営指標に係る数値目標を設定した経営の効率化などからなる公立病院改革プランを策定します。

重点方針2 公営企業の経営健全化

公営企業の経営健全化を図るため、企業局のあるべき姿を明示した「中期経営計画」に基づき、水力発電による電力の安定供給や太陽光発電などのクリーンエネルギーの活用を推進します。

重点方針3 税収確保対策の強化

税負担の公平を確保し、自主財源である県税の確実な収納を行うため、差押を中心とした迅速な滞納整理を徹底して行うとともに、納期内納税の促進に向けた納税環境の整備を図ります。

また、県と市町村で共同設置した「山梨県地方税滞納整理推進機構」を活用し、移譲された税源の確実な収納を図ります。

チャレンジ ミッション '08

2 「かみなぎる・やまなし」の実現

重点方針1 「やまなしブランド戦略」の推進

「やまなしブランド戦略」に基づき、トップセールスや県産品の海外展開等による販路拡大戦略をはじめ、山梨の魅力や情報を発信するイメージアップ戦略、やまなし大使の交流等によるコミュニケーション拡大戦略など、3つの戦略を総合的に展開します。

重点方針2 やまなしブランドの推進

本県のすぐれものである「ワイン、ジュエリー、織物」のブランド化を一層推進するため、地場中小企業者等が取り組む産地ブランドの形成、産地のイメージアップ、販路開拓事業を支援するとともに、その魅力を国内外に発信し、ブランドイメージの確立と販路開拓を図ります。

重点方針3 県産農産物の販路拡大と輸出促進

本県農産物のイメージアップと販路拡大を図るため、大消費地でのトップセールスや、県産ブランド農畜産物の販売促進活動を農業団体と一体となって実施するとともに、「果樹王国やまなし輸出戦略プラン」に基づき、輸出促進センターの設置や海外でのプロモーション活動の支援など、輸出拡大に向けた取り組みを強化します。

重点方針4 力強い果樹産地づくり

本県果樹産地の競争力を一層強化するため、ほ場整備事業に向けた地域の合意形成を進めるとともに、農家の費用負担の軽減を図る中で果樹園の基盤整備を促進し、担い手への農地の集積や品目別の団地化に取り組めます。

重点方針5 多様な担い手づくり

多様な担い手を幅広く確保・育成するため、農業に高い関心を持つ新規参入者や退職帰農者などに対して就農に向けた技術指導等の支援を行うとともに、大規模農業経営体の育成や企業の農業への参入を促進します。

重点方針6 耕作放棄地の再生活用

優良農地を確保し、農村景観の保全を図るため、耕作放棄地の解消に向けた県指針を策定するとともに、地域の実情に応じた取り組みを支援し、耕作放棄地の発生防止や有効活用を図ります。

重点方針7 野生鳥獣の保護管理の推進

野生鳥獣による農林業被害の防止と生態系の保全を図るため、特に被害が多いニホンジカ、イノシシ、ニホンザルの管理捕獲を実施するなど、特定鳥獣の保護管理を推進します。また、管理捕獲等の担い手の早期確保を図るため、鳥獣捕獲従事者の育成事業に対して支援します。

重点方針8 鳥獣害防止対策の強化

野生鳥獣による農作物の被害を防止するため、市町村による被害防止のための計画づくりを促進するとともに、鳥獣の捕獲や防護柵の設置などを積極的に支援します。

重点方針9 技術系人材の確保・育成

本県のものづくり産業を活性化するため、「技術系人材の確保・育成対策アクションプラン」に基づき、産業技術短期大学校の教育内容の充実や地域産業界と工業高校が連携したインターンシップの実施、Uターン・Iターンの促進などに取り組み、県内外における技術系人材の確保、企業の人材育成を推進します。

重点方針10 ベンチャーなどの創業支援

本県産業界の新規開業率の向上を図るため、やまなしベンチャーファンドやインキュベーションルームの活用を一層推進するとともに、新たに創業支援の助成事業を行う「山梨みらいファンド」を組成し、新規創業や企業の新分野展開を促進します。

重点方針11 高度情報エリアの整備検討

甲府駅北口県有地への高度情報エリアの整備に向け、その在り方、施設配置、民間活力の導入などについて検討し、整備方針を策定します。

高度情報化拠点については、この整備方針を踏まえ整備事業者の選定を進めるとともに、新県立図書館については、方針との整合を図りながら整備計画を策定し、設計に着手します。

重点方針12 情報通信関連企業の立地促進

情報通信産業の集積促進と雇用の創出を図るため、情報通信関連企業に対し、事務所の設置や情報通信機器の整備への支援を行うとともに、情報通信産業の振興や ICT 人材の育成・確保などについて、協議会を設置して検討します。

重点方針13 企業の誘致・既存立地企業の事業拡大支援

活力ある産業の集積と雇用の拡大による本県経済の活性化を図るため、将来性のある優良な企業の誘致を積極的に推進するとともに、県内企業のニーズを十分把握し、施設・設備の拡充などの事業拡大を支援します。

重点方針14 建設産業の活性化支援

かつてない厳しい経営環境にある県内建設産業の活性化を図るため、本年度設置した「建設業対策室」を中心に、経営力の強化、新分野進出や企業合併などを目指す意欲ある建設業者の取り組みを支援します。

重点方針15 中心市街地の活性化

県都甲府市の中心市街地の活性化を図るため、甲府市が進める中心市街地活性化基本計画の策定とその実施について支援します。

チャレンジ ミッション '08

3 「やすらぎ・やまなし」の実現

重点方針1 建築物の耐震化推進

地震に強い安全・安心なまちづくりを進めるため、人命の救済が第一という観点に立ち、高齢者等が居住する木造住宅の耐震改修を一層促進するとともに、地震直後の圧死などの被害低減に向け新たに創設した「耐震性向上型改修支援事業」の活用促進に努めます。

重点方針2 県有施設の耐震化推進

平成27年度までの全県有施設の耐震化に向け、耐震改修促進計画に基づき、県立大学看護学部実習棟等の県有施設の耐震改修を計画的に実施します。

また、県庁舎については、耐震化等整備に併せ、新庁舎に整備すべき新たな防災拠点機能に関する調査を実施し、これを反映した耐震化等整備基本計画を策定します。

重点方針3 県立学校施設の耐震化推進

児童・生徒が一日の大半を過ごす学習や生活の場であるだけでなく、身近なコミュニケーションの拠点として大きな役割を担っている県立学校について、地震に対する安全性を確保するための耐震化を計画的に行います。

重点方針4 消防力の強化

大規模災害発生時に迅速・的確に応急対策がとれるよう、各種の防災訓練を実施するとともに、富士山噴火等による被害を最小限に止められるよう、火山防災体制を強化します。また、災害時の救助活動の指示や防災に関する知識の普及・啓発等を担う地域防災リーダーを養成し、地域防災力の強化を図ります。

さらに、市町村の消防体制の充実・強化を図るため、「消防広域化推進計画」を策定するなど、消防の広域化に取り組むとともに、老朽化した消防学校の建て替えに向け、「消防学校整備方針」を策定します。

重点方針5 安全・安心なまちづくり

犯罪の起きにくい安全・安心なまちづくりを進めるため、県民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るとともに、地域における自主防犯組織等の安全活動を促進します。

また、スクールサポーターの効果的な活用を図り、少年の非行防止や子どもの安全確保に取り組みます。

重点方針6 少子化対策の推進

子育て家庭を応援し、子どもが心身ともに健やかに育まれるよう、次世代育成支援県行動計画「やまなし子育て支援プラン」を着実に実行し、「地域で子育て」、「あんしん子育て」、「企業も子育て応援」の重点プロジェクトを中心とした、多様な保育需要への対応、乳幼児医療費の保護者負担の軽減、企業の子育て支援の取り組みの促進など、子育て支援に係る諸事業に取り組みます。

重点方針7 障害者の自立支援

視覚に障害をもつ知的障害者の自立を支援するため、老朽化が進んでいる知的障害者更生施設「青い鳥成人寮」について、利用者の居住環境の向上と併せ、障害者自立支援法に基づく新サービス体系に適応した施設となるよう、必要な整備に取り組みます。

重点方針8 ユニバーサルデザインの推進

高齢者や障害をもつ人を含むすべての人々が、快適で安全に利用しやすい空間を確保するため、歩道をはじめとした公共施設のバリアフリー化や電線類の地中化を推進します。

また、増加する外国人旅行者等も安心して移動できるよう、外国語併記の道路案内標識を整備するなど、ユニバーサルデザインの推進を図ります。

重点方針9 医師確保対策の実施

地域の公立病院等において深刻化する医師不足に対応するため、山梨大学等関係機関との連携のもと、医師修学資金貸与制度やドクタープール制度の活用など、本県への医師の定着、確保に向けた多様な取り組みを進めます。

重点方針10 妊婦の安全・安心の確保

妊婦の安全・安心を確保するため、病院が分娩を取りやめた地域においても、日常の健診については身近な病院で安心して受けられるよう、助産師を活用した相談体制の充実を図るとともに、分娩を予定している病院との円滑な連携が図られる体制づくりを進めます。

また、助産師の資質向上等に取り組み、助産師外来の導入に向けた検討を進めます。

重点方針11 富士・東部地域における小児救急医療体制の整備

富士・東部地域における小児救急医療の充実を図るため、小児初期救急医療センターを新たに設置するとともに、二次病院群輪番制整備に向け取り組みます。

重点方針12 公立病院等の再編・ネットワーク化

地域において必要な医療提供体制の維持・確保を図るため、市町村や医療機関など関係者間の協議、検討を踏まえ、全県下における公立病院等の再編・ネットワーク化に向けた構想を取りまとめていきます。

チャレンジ ミッション '08

4 「はぐくむ・やまなし」の実現

重点方針1 県立高等学校整備構想の策定

普通科高校の全県一学区化、生徒減少期における学校規模の適正化等に対応し、魅力ある高校づくりを推進するため、新たな県立高等学校整備構想の策定に着手します。

重点方針2 キャリア教育・産業教育の充実

児童生徒一人ひとりの職業観・勤労観を育てるため、就業体験などの「キャリア教育」の充実に取り組みます。また、地域産業の担い手育成のため、専門高校における「産業教育」の充実に取り組みます。

重点方針3 「はぐくみプラン」の実施

いわゆる「中1ギャップ」への対応を図るとともに一人ひとりの個性を大事にしながら、未来を拓き世界に通じる人づくりを推進するため、小学校1・2年生への少人数学級を継承し、新たに中学校1年生を対象に35人学級編制を含めた少人数教育「はぐくみプラン」を推進します。

重点方針4 スポーツ施設の整備

県民に良好なスポーツ施設を提供するとともに、「見るスポーツ」に対するニーズに応えるため、県有スポーツ施設等の計画的な改修、整備を進めます。

重点方針5 県立美術館の魅力向上

開館30周年となる県立美術館について、ミレーの美術館として積極的に全国に情報発信するため、ミレーやバルビゾン派の絵画を一堂に展示する「ミレー館」を整備するとともに、30周年にふさわしい企画展を開催するなど、県立美術館の魅力向上を図ります。

チャレンジ ミッション '08

5 「さわやか・やまなし」の実現

重点方針1 美しい県土づくり

統一感のある街並みや良好な景観を形成するため、より多くの市町村が早期に景観法に基づく「景観行政団体」となり独自の「景観計画」を策定できるよう指導・助言を行います。

また、関係する市町村間の連携と調整の場を設けるなど、広域的に調和のとれた景観の形成に積極的に取り組みます。

重点方針2 富士山世界文化遺産登録の推進

富士山世界文化遺産の平成23年登録に向け、推薦書原案の作成、保存管理計画の策定、構成資産の文化財指定など、県、市町村が一体となった取り組みを進めます。

重点方針3 総合的な環境政策の推進

環境と調和した持続可能な社会の構築に向け、豊かな自然や生活環境の保全はもとより、地球温暖化対策の一層の推進やごみゼロ社会の実現など、環境先進県を目指した施策の総合的な推進を図ります。

重点方針4 地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策をより一層効果的に進めるため、「県地球温暖化対策条例」を制定するとともに、具体的な取り組みを示した「県地球温暖化対策計画」を策定します。

重点方針5 最終処分場の整備推進

将来に渡って廃棄物を適正に自県内で処理できるよう、(財)山梨県環境整備事業団が行う施設整備に対して支援し、公共関与による廃棄物最終処分場の整備を推進するとともに、次期処分場の整備を推進します。

チャレンジ ミッション '08

6 「つどう・やまなし」の実現

重点方針1 大型観光キャンペーンの展開

多くの方が、繰り返し訪れる宿泊滞在型の観光地づくりを推進するため、JRグループ6社との協働による「山梨デスティネーションキャンペーン」をはじめ、官民一体となった大型観光キャンペーンを実施し、全国に向けて誘客宣伝を行うとともに、観光客のもてなし体制の充実に努めます。

重点方針2 外国人観光客の誘致

富士箱根伊豆地域への誘客を促進するため、中国上海市において、市人民政府トップと観光交流に関する協議を行うとともに、旅行会社やメディアに対するプロモーションを実施するなど、静岡県や神奈川県との連携による観光トップセールスを行います。また、台湾で開催される「フードタイペイ」への出展を好機と捉え、富士山をはじめとする本県の観光資源の魅力を紹介します。

重点方針3 新たなツーリズムの推進

地域が自らの魅力を活かした体験・交流型観光を進め、新しい旅行需要の創出による宿泊客の増加や地域の活性化を図れるよう、グリーンツーリズムやエコツーリズムなどの取り組みに加え、ワイナリーや文化施設を巡りながら、風景や郷土料理を楽しむワインツーリズムや親子三世代の旅行を促進するなど、地域に密着した新たなツーリズムを推進します。

重点方針4 観光地の再生

県内の主要な観光地の再生を図るため、地域の観光事業者や住民などが市町村等と協働して行う、温泉地や歴史・文化地区、農村・森林地域などの魅力を向上させる取り組みを支援します。

チャレンジ ミッション '08

7 「むすぶ・やまなし」の実現

重点方針1 骨格道路網の整備推進

中部横断自動車道の平成29年度までの完成を目指し、関連公共施設の整備や用地の確保に積極的に取り組むとともに、「有料道路方式」と「新直轄方式」各区間の同時並行による整備について、国や中日本高速道路（株）などに一層働きかけます。

また、新山梨環状道路や西関東連絡道路をはじめとする地域高規格道路や国道・県道など、県土の骨格となる道路網の整備に積極的に取り組みます。

重点方針2 県際道路の整備促進

本県の発展に必要な県外との交流や連携を促進するため、東富士五湖道路と第二東海自動車道を結ぶ国道138号御殿場バイパス等の早期完成や、中央自動車道の上野原インターチェンジから八王子ジャンクションまでの拡幅整備の早期実現などについて、国や関係機関などに積極的に働きかけます。

重点方針3 多様な交通手段の整備検討

J R 中央線の利便性向上を実現するため、「中央線高速化等利便性向上検討委員会」において、高速化や利便性向上方策について検討・協議するとともに、「中央東線高速化促進広域期成同盟会」による国やJ R 東日本等への要望活動、また、沿線地域の世論醸成を図るための広報活動を実施します。

また、高齢者などいわゆる「交通弱者」の生活に不可欠な公共交通を確保するため、国、市町村、交通事業者と協働して地域の実情にあったバス路線の再編整備を進めます。

重点方針4 山梨リニア実験線の整備促進

山梨リニア実験線の平成25年度完成に向け、実験線事業用地のうち未買収地の年度内の完全取得を目指します。

また、山梨リニア実験線一般区間の建設工事に伴う、建設資材の運搬や土砂搬出などに必要な工事用道路を整備します。

重点方針5 国際交流ゾーン構想の検討

富士北麓地域の特性を活かした振興を図るため、地元市町村や関係業界団体、学識経験者等をメンバーとする「富士北麓国際交流ゾーン構想連絡協議会」を設置し、国際交流ゾーンの形成に向けた気運の醸成に努めるとともに、地域の一体的な推進体制の確立を図ります。

チャレンジ ミッション '08

○ 行政改革

重点方針1 部局における県民との対話事業の実施

知事が行う「県政ひざづめ談議」に加え、県内各地に部長等が出向き、県民の皆様と直接の意見交換や質疑応答を活発に行い、県民ニーズや第一線の現場の声など必要な情報を共有するため、「県政出張トーク」（仮称）を新たに開催します。

重点方針2 出先機関の窓口サービスの改善

県民の皆様の利便性を一層向上するため、出先機関の窓口サービスについて利用者の視点に立った積極的な改善を実施します。

重点方針3 県外への情報発信・PR活動の強化

「職員一人ひとりが山梨県の宣伝マン」であるという自覚に立って、本県の魅力や山梨のすぐれものなどに関する情報を、イベントなどの様々な機会をとらえて、積極的に全国に向けて情報発信やPRを行います。